

国立の医学部 学士入学導入

東大など32校

朝日新聞
'97.5.2

〔医学部医学科への学士入学の実施を決めた大学（OPI）と実施の方向で検討中の大学〕

1998年度 ○群馬 北海道 島根医科 高知医科
1999年度 ○琉球（導入時期は目標） 山形 金沢
神戸 鳥取 岡山 九州
2000年度 ○新潟（導入時期は目標）
2001年度 ○東京
時期未定 旭川医科 弘前 秋田 筑波 東京医科
歯科 福井医科 山梨医科 信州 浜松医
科 三重 滋賀医科 京都 広島 山口
徳島 香川医科 愛媛 大分医科 鹿児島

人材確保へ枠1割

医学部が設置されている国立大学四十二校のうち、東大など四校が大学卒業生（学士）を三年次に編入させる学士入学の新設を決めた。二十八校が導入の方向で学内手続きを進めていることが文部省の調べでわかった。偏重の高い高校卒業生だけでなく、強い志望動機があり、人間性豊かな大学既卒者を確保する狙い。現在、国立大医学部で採用しているのは一校だけだが、予定通り進めば、総定員の約一割が学士入学枠となる。全国の大学に進められている入試改革にも大きな影響を与えそうだ。

医師を養成する国立大医学部医学科の総定員は四百人。各大学とも、総定員は変えず、一般入試枠を削る形で学士入学枠を確保するとみられる。

医学部への学士入学の導入は、国立大学協会の医学教育特別委員会（委員長＝石川英一、群馬大学長）の「医学部（医学科）四年制コース創設の提言」を受け、加速した。

同委は今年三月、「高校卒業生を主な入学対象とする現在の制度では、必ずしも医学部志望者としての自覚・動機付けを持った適任者が入学するとはいえない状況下にある」として、現行制度で大胆な選抜が可能な編入学制度の積極的導入を提言した。

これを受ける形で、東大の入試監理委員会（学部長で構成）は、二〇〇一年度入試で医学部に学士入学枠（五人）の新設を決定。これに伴って、理科Ⅲ類の前期日程（八十人）の募集人員を一九九九年入試から五人減らし、学士入学枠に回すことも決めた。

群馬大は、来年度予算の

1997.
5.
2.
朝日新聞